

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月3日

株式会社 ゼンリン

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。
世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかる様々なリスクや不確定要因により、
実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数は切捨て、増減率は小数点以下第2位を四捨五入し小数第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「-」表記しております。

1. 2025年3月期 第3四半期 決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 事業別売上高の増減
- 4) 営業利益の増減 【売上高・費用内訳】
- 5) 配当金

1) 決算概要

2025年3月期 第3四半期
決算のポイント 【前年同期比 増収 増益】

4期連続 増収

売上高

- オートモーティブ関連でカーナビ用データが増収（1Qでの一過性要因計上を含む）
- IoT関連でAPIサービス及びソリューションサービスが堅調、プロダクト関連も増収

3期ぶり 改善・黒字化

費用・損益

- ベースアップ等で人件費が増加したものの、売上構成変化と価格改定効果で営業利益が改善
- ※地図データベース整備費用等の固定費は年間を通して発生する一方、売上高は季節的変動が著しく年度末に集中する傾向

(金額単位:百万円)	前年同期実績 (24年3月期 3Q)	当期実績 (25年3月期 3Q)	前年同期比 増減率
売上高	42,013	44,355	+2,342 +5.6%
営業費用	43,117	43,624	+506 +1.2%
営業利益	△1,104	731	+1,835 -
営業利益率	△2.6%	1.6%	+4.2pt -
経常利益	△1,097	711	+1,809 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△871	541	+1,413 -

事業別売上高
内訳 ▶ P4

営業費用
内訳 ▶ P5

2) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)



売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比
(増減率)

2,342百万円 **増加**
(+5.6%)

1,835百万円 **改善**
(-)

1,809百万円 **改善**
(-)

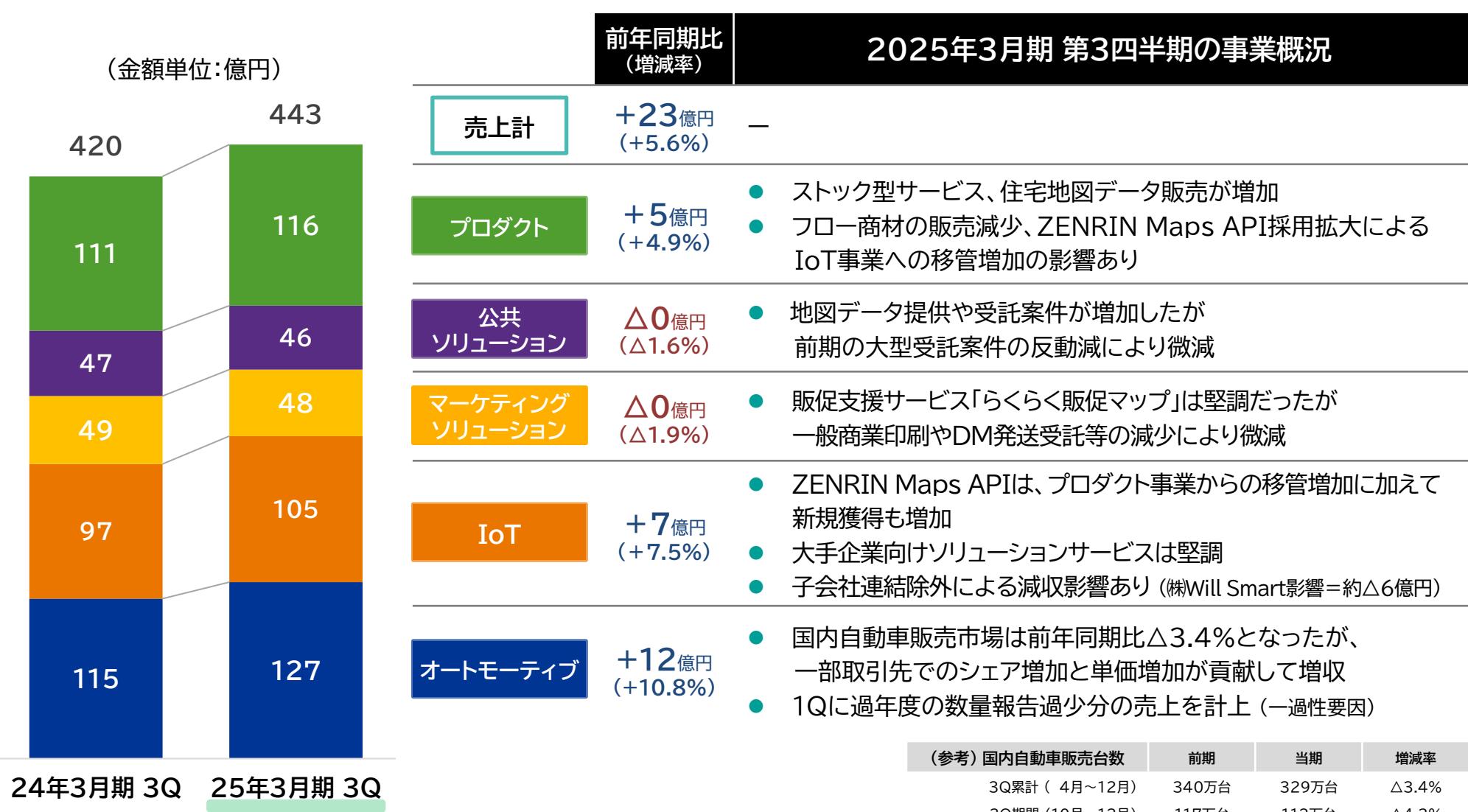
1,413百万円 **改善**
(-)

4期連続 増収

3期ぶり 改善

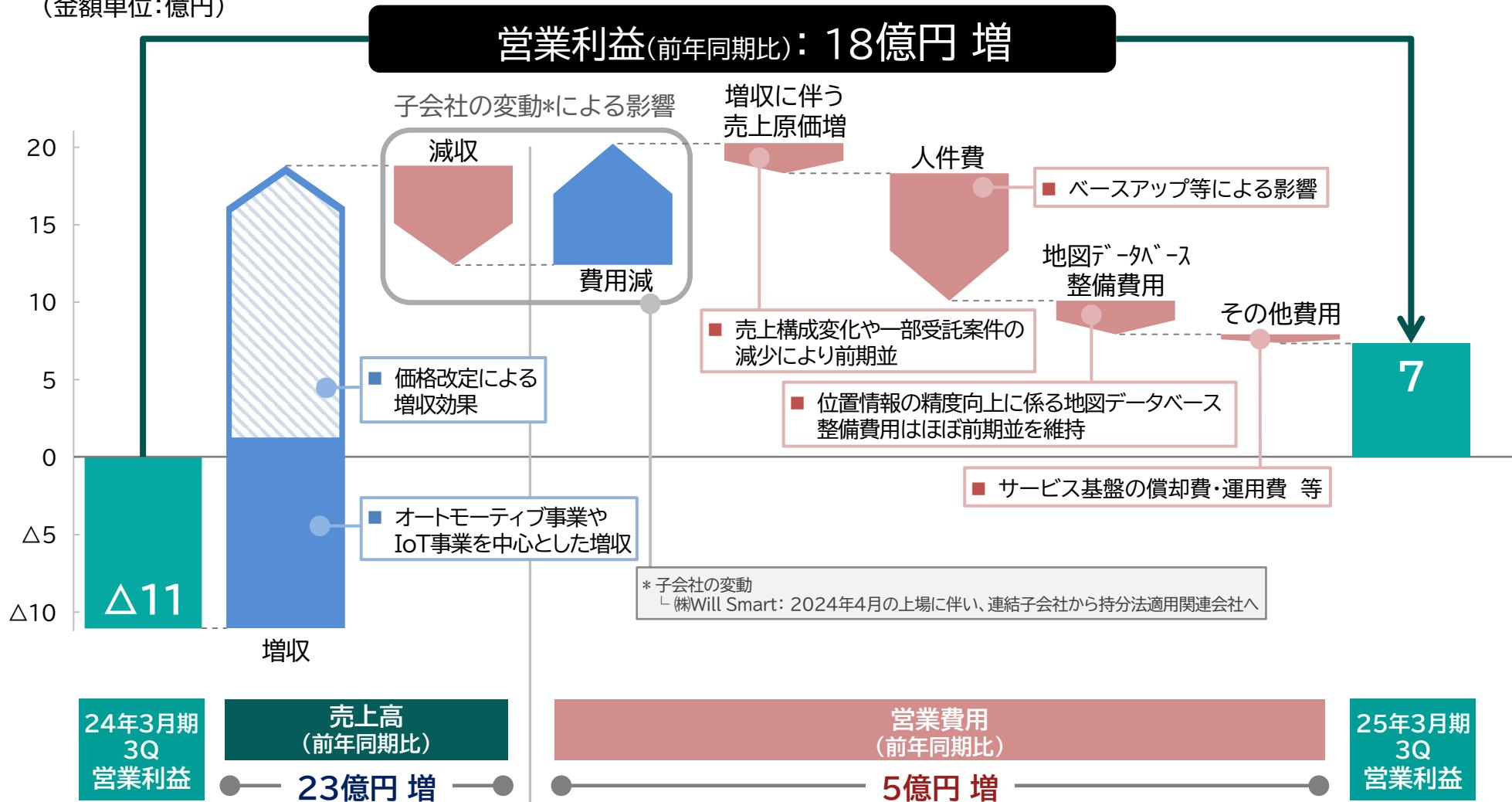
※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用しておりません。(次ページ以降同様)

3) 事業別売上高の増減



4) 営業利益の増減 【売上高・費用内訳】

(金額単位: 億円)



5) 配当金

利益還元の 基本方針

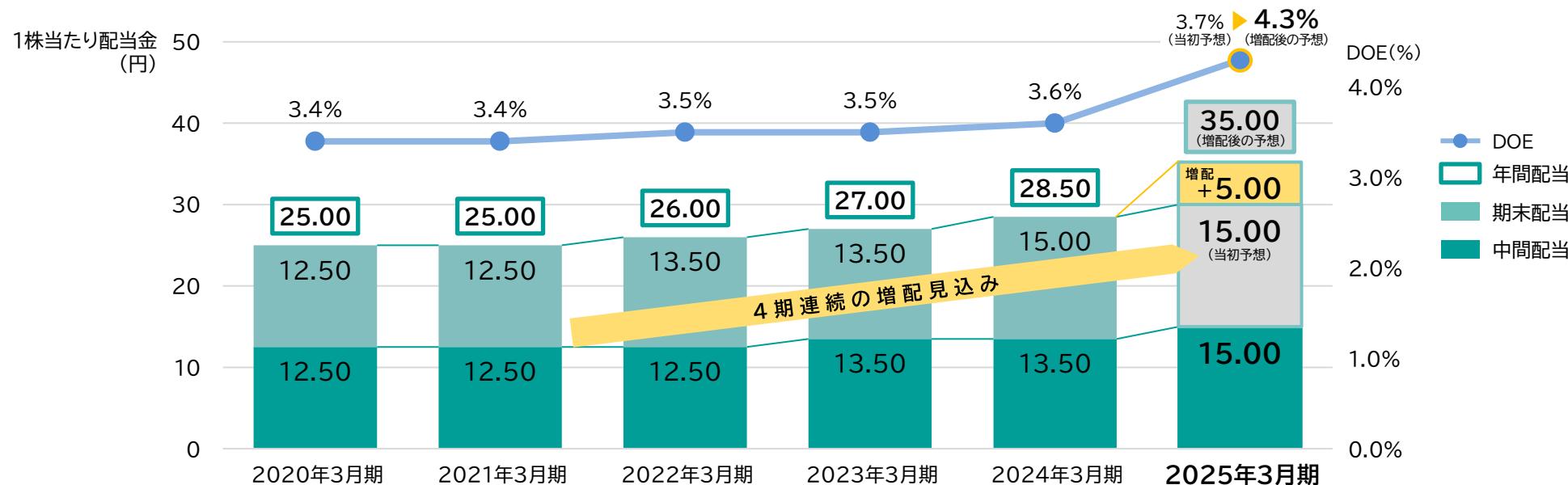
株主の皆様に対する利益還元を最重要課題と位置づけて、連結ベースでの中長期経営計画における利益成長に基づいた安定的かつ継続的な配当を実施

配当

- DOE (連結株主資本配当率) 3%以上を目標
- 1994年9月の福証上場以来、普通株式の減配なし

増配について

- 2025年3月期の期末配当金は、**当初【1株当たり15円】**としておりましたが、業績が順調に推移していること、内部留保の状況等を鑑み、株主の皆様への日頃のご支援に応えるべく、**5円増配**し、**【1株当たり20円】**とすることといたしました。
- これにより、既に実施いたしました中間配当金15円と合わせて、**年間配当金は【1株当たり35円】**となる予定*です。(* 2025年6月開催予定の第65回定時株主総会に上程予定)



目次

■ Appendix

【2025年3月期 第3四半期実績】

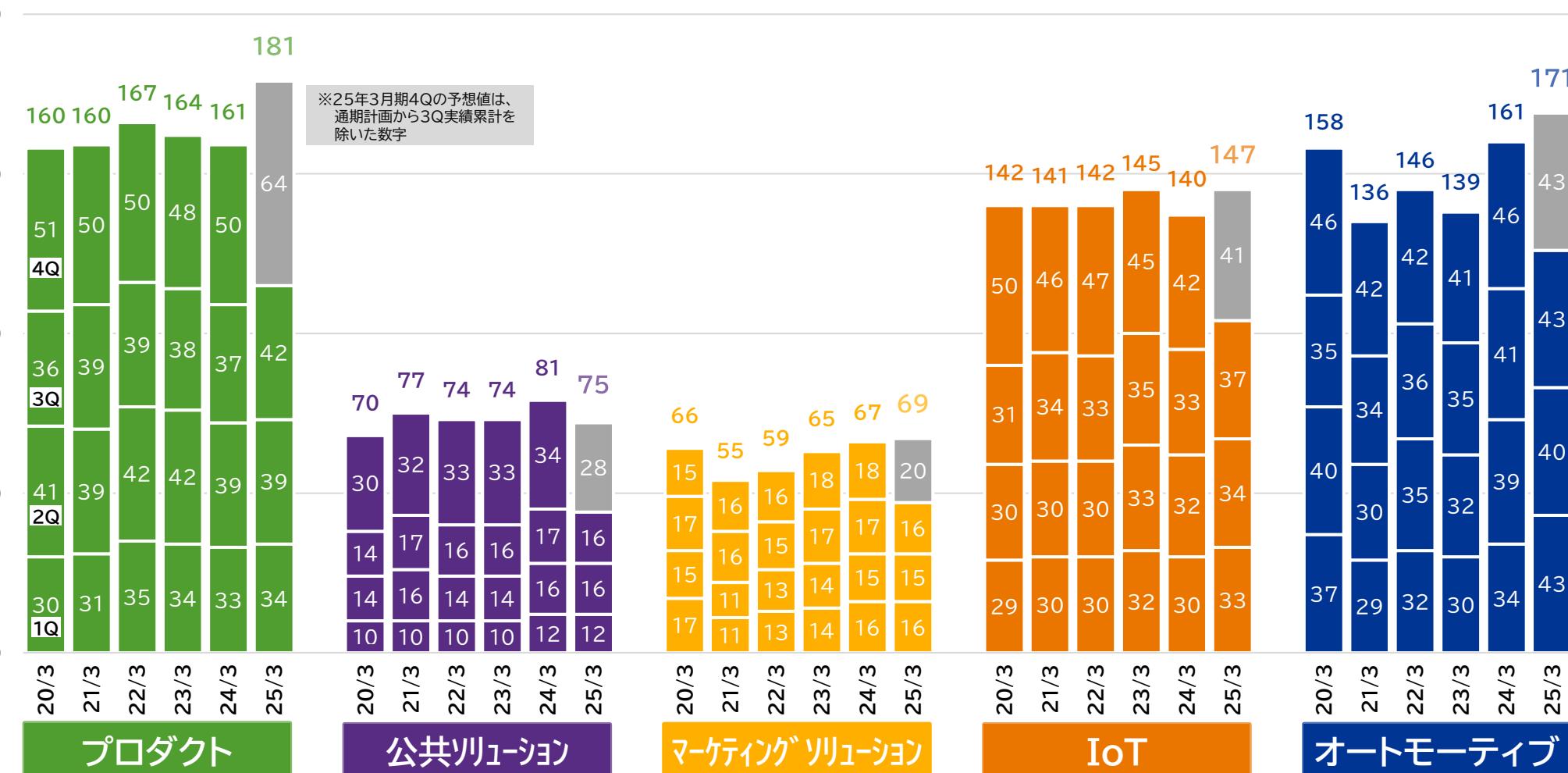
- 1) 事業別売上高の四半期別推移
- 2) 四半期売上高構成比率の推移
- 3) 四半期別の収益傾向
- 4) 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 5) 主なニュースリリース

【2025年3月期 通期業績予想】

- 6) 通期業績予想
- 7) 売上高・利益の推移
- 8-①) 業績予想の前提 【事業別売上高】
- 8-②) 業績予想の前提 【売上高・費用内訳】
- 9) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

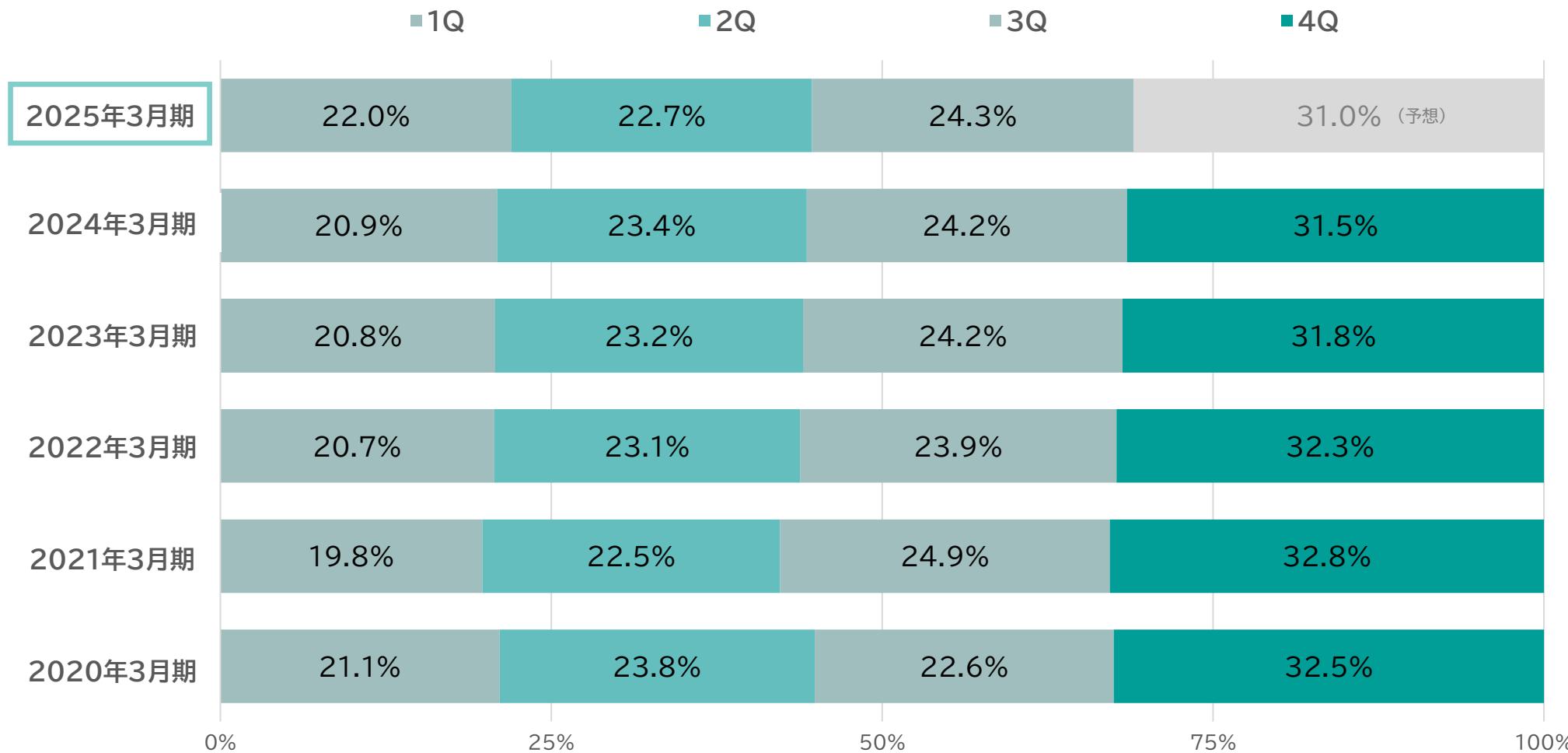
1) 事業別売上高の四半期別推移

(金額単位:億円)



2) 四半期売上高構成比率の推移

従来より当社グループの売上高は季節的変動が著しく、年度末に売上が集中する傾向

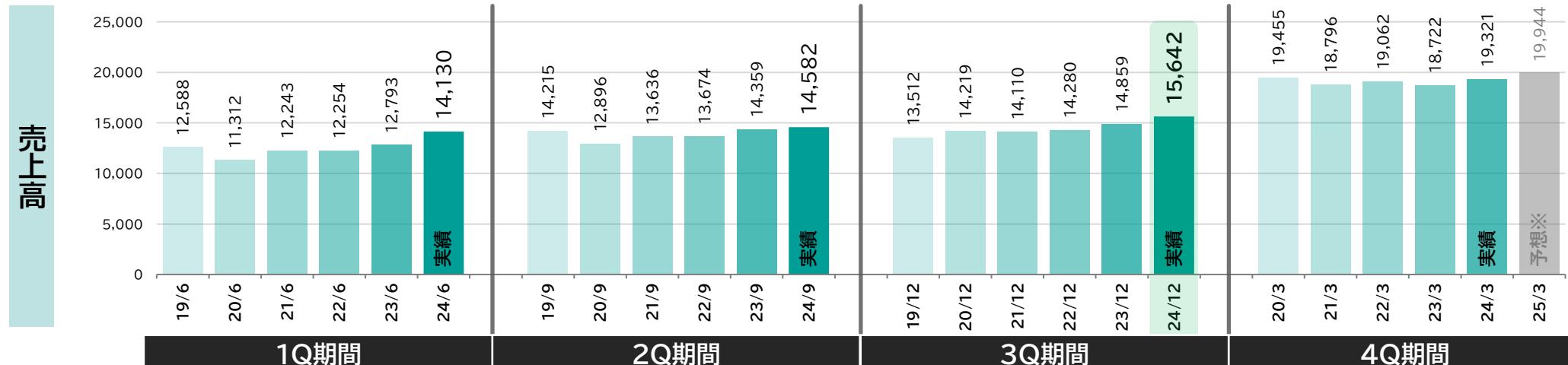


3) 四半期別の収益傾向

図：各四半期の売上高・営業利益の推移

※25年3月期4Qの予想値は、
通期計画から3Q実績累計を
除いた数字

(単位:百万円)



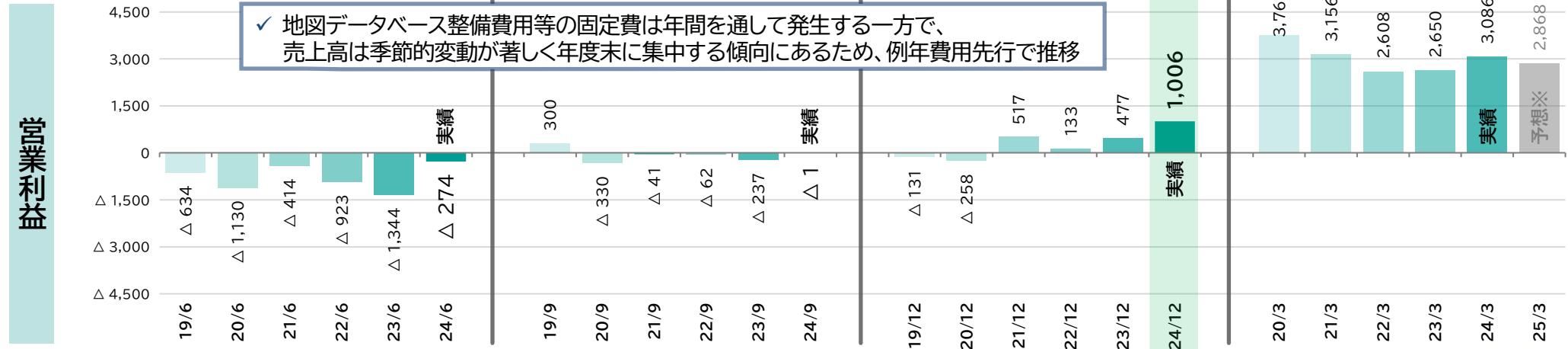
1Q期間

2Q期間

3Q期間

4Q期間

(単位:百万円)



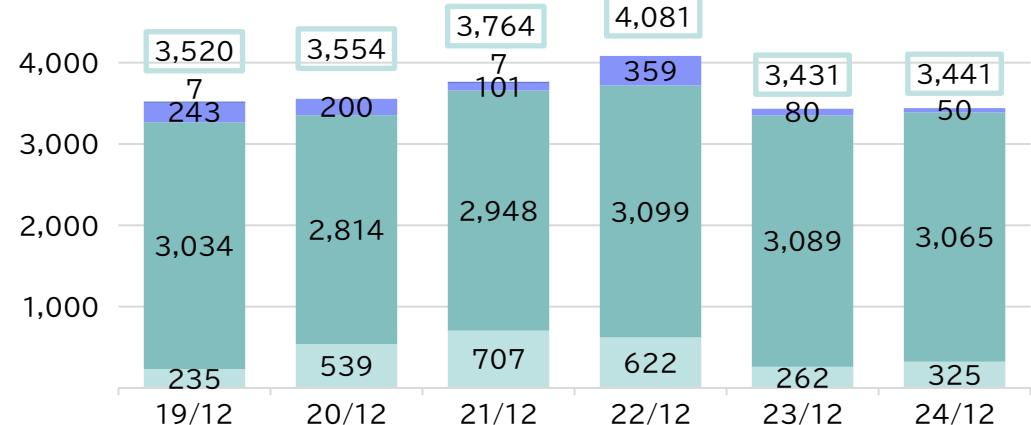
✓ 地図データベース整備費用等の固定費は年間を通して発生する一方で、
売上高は季節的変動が著しく年度末に集中する傾向にあるため、例年費用先行で推移

4) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

■ 合計額
■ 無形リース資産
■ 有形リース資産
■ 無形固定資産
■ 有形固定資産

設備投資額

(金額単位:百万円)



研究開発費

(金額単位:百万円)

- MaaSサービス開発
- AI画像認識技術 等



■ 合計額
■ 無形リース資産
■ 有形リース資産
■ 無形固定資産
■ 有形固定資産

減価償却費

(金額単位:百万円)



5) 主なニュースリリース

リリース日	タイトル	区分
2024年10月1日	地図・ナビゲーションサービス「ゼンリン地図ナビ」がバージョンアップ! ～複数系統のバス時刻表表示機能と、写真から住所読み取り機能を追加～	IoT
10月1日	株主優待制度による寄付のご報告	IR
10月4日	長崎県初出店！地図がデザインされた文具・雑貨を販売する専門店「Map Design GALLERY 長崎スタジアムシティ」オープン	その他
10月22日	ローカスブルー株式会社が開発販売するオンライン点群データ処理・解析ソフト「ScanX(スキャン・エックス)」の 弊社での取り扱い開始に伴い、Webページを公開しました	プロダクト
10月24日	石川県応急仮設住宅マップ(広域一枚地図)を公開しました	その他
11月6日	不動産業務を効率化する地図配信サービス「ZENRIN GISパッケージ不動産」のオプション機能として新たに「登記情報取得機能」を提供開始	プロダクト
11月18日	岐阜県・下呂温泉で観光・防災に関する実証実験を実施 観光情報や避難所情報の多言語対応地図を配信	IoT
11月26日	ドローンの安全な飛行経路“空の道”作成を支援「ドローンルート検索機能」「ドローンルート評価機能」搭載のAPIを提供開始 飛行経路を自動生成！国際規格に準拠した世界初のサービス	IoT
11月28日	ゼンリングループが保有する過去の地図データと詳細な建物情報を活用した新サービス「都市変遷マップ」の提供を開始	IoT
2025年1月15日	クルマの先端テーマの最新技術が一堂に出展する「オートモーティブワールド 2025」に出展	オートモーティブ
1月23日	広島市と「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結	公共ソリューション

※詳細は当社ホームページをご覧ください <https://www.zenrin.co.jp/information/>

6) 通期業績予想

期初業績予想を据え置き ~第3四半期まで概ね計画通りに進捗中~

再掲:2024年3月期 決算説明資料

売上高

- GISパッケージなどのストック型ビジネスの拡大と価格改定による増収
- 自動車生産回復に伴いオートモーティブ関連売上が堅調に推移

費用 損益

- ベースアップによる影響や、増収に伴う売上原価等での費用増加を想定するが、増収で吸収し、営業利益は増益を予想

(金額単位:百万円)	前期実績 (24年3月期)	当期業績予想 (25年3月期)	前期比 増減率
売上高	61,335	64,300	+2,964 +4.8%
営業費用	59,353	60,700	+1,346 +2.3%
営業利益	1,981	3,600	+1,618 +81.7%
営業利益率	3.2%	5.6%	+2.4pt
経常利益	2,060	3,700	+1,639 +79.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,078 <small>※投資有価証券売却益を 特別利益に計上</small>	2,500	+421 +20.3%
ROE (自己資本当期純利益率)	4.4%	5.0%	+0.6pt

7) 売上高・利益の推移

期初業績予想を据え置き

～第3四半期まで概ね計画通りに進捗中～

(金額単位:百万円)



前期比
(増減率)

売上高

+2,964百万円
(+4.8%)

2期連続 増収

営業利益

+1,618百万円
(+81.7%)

2期連続 増益

経常利益

+1,639百万円
(+79.6%)

3期ぶり 増益

親会社株主に帰属する
当期純利益

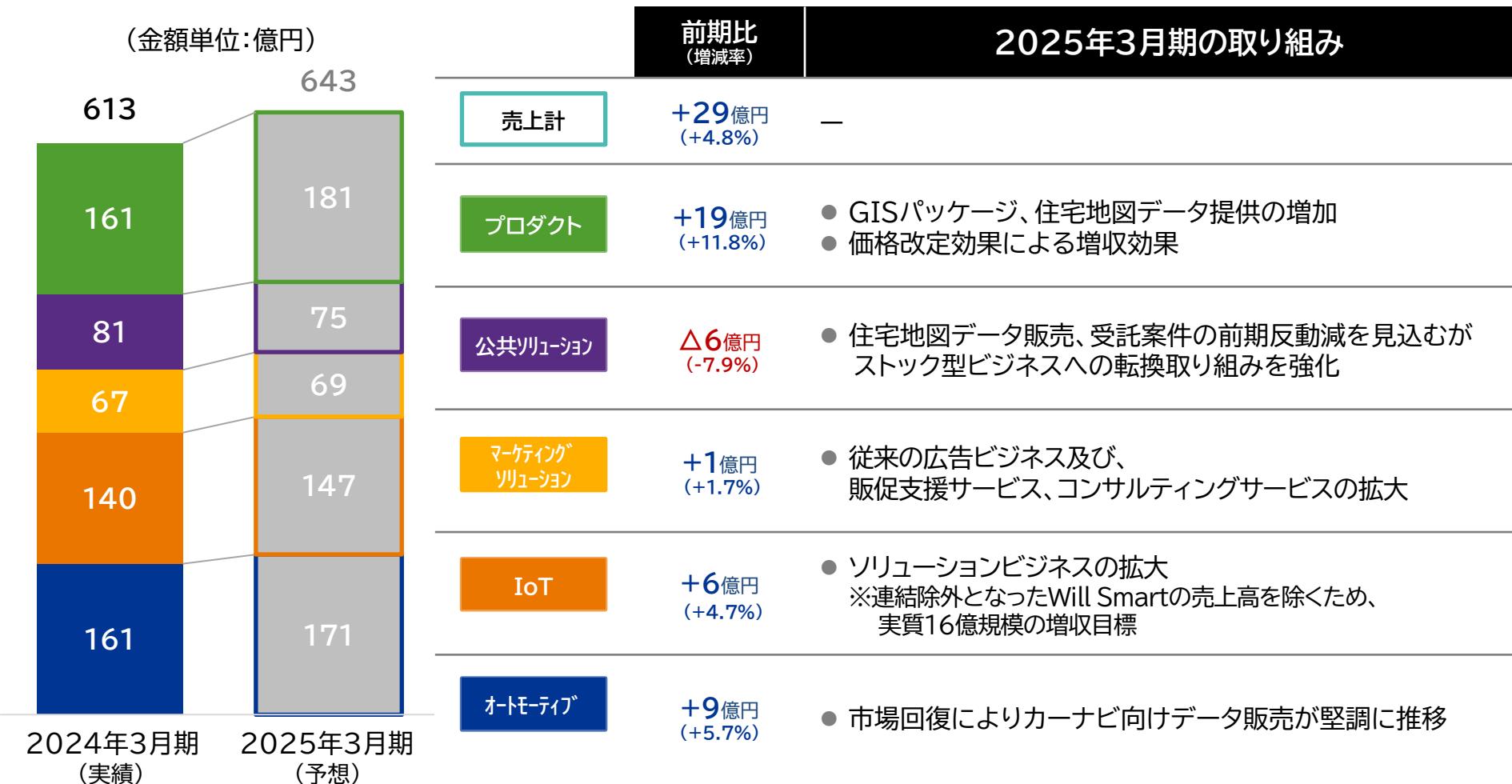
+421百万円
(+20.3%)

※ 2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」)等を適用しておりますが、2021年3月期以前の数値については、収益認識会計基準等を遡及適用しておりません。(次ページ以降同様)

8-①) 業績予想の前提 【事業別売上高】

期初業績予想を据え置き ~第3四半期まで概ね計画通りに進捗中~

再掲:2024年3月期 決算説明資料

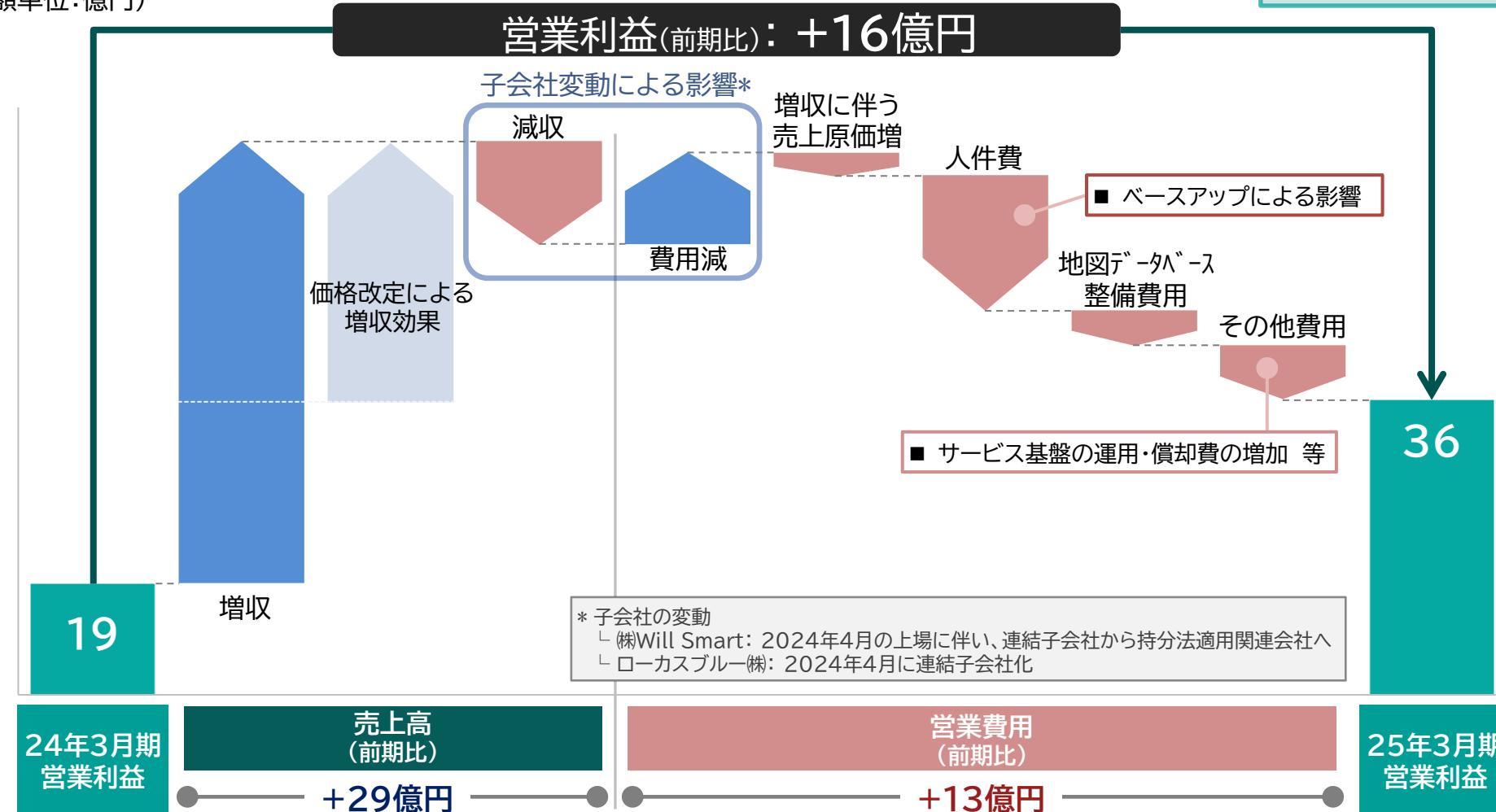


8-②) 業績予想の前提 【売上高・費用内訳】

期初業績予想を据え置き ~第3四半期まで概ね計画通りに進捗中~

(金額単位:億円)

再掲:2024年3月期 決算説明資料



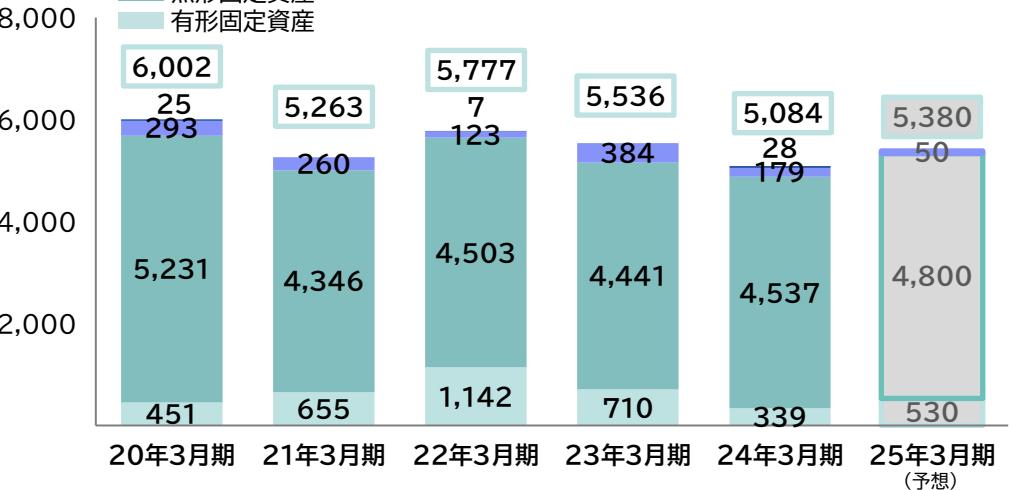
9) 設備投資額・減価償却費・研究開発費

再掲:2024年3月期 決算説明資料

合計額
無形リース資産
有形リース資産
無形固定資産
有形固定資産

設備投資額

(金額単位:百万円)



研究開発費

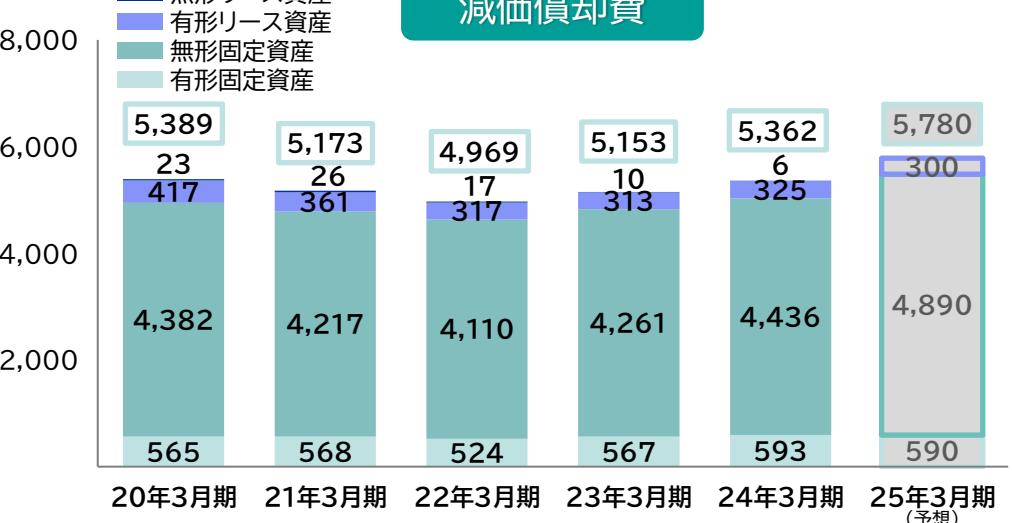
(金額単位:百万円)



合計額
無形リース資産
有形リース資産
無形固定資産
有形固定資産

減価償却費

(金額単位:百万円)



ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <https://www.zenrin.co.jp>

IRお問い合わせ先 zenrin-ir@zenrin.co.jp

会社説明資料 https://www.zenrin.co.jp/ir/pdf/corporate_profile.pdf